

第3回長期計画審議会での質問に対する回答等

Q	A
<p>1 区民意識調査では防災対策の強化、高齢者・障害者にやさしいまち、子育て支援などの3つが大きな要望になっている。財政に限りはあるが、区民の要望する5年後、10年後の実現を行財政運営の中で貫くべきで、財政においても措置すべきである。</p> <p>区有施設の見直しにおいても、この3つの要望が最大限生かされる必要があると考えるがどうか。</p>	<p>平成29年6月に策定した「目黒区区有施設見直し計画」において、「限りある財源の中で、さまざまな工夫により、将来にわたって、区有施設の快適性・安全性を確保し続けるとともに、施設に対する区民ニーズの変化に的確に対応していく」ことを目指して取組を進めていくこととしています。ご質問のあった区民意識調査の大きな要望は、区民ニーズとして十分受け止めつつ、対応していく手法については、さまざまな工夫をしていきたいと考えています。</p>
<p>2 行財政運営分野の基本構想検討シートの課題解決の方向性において、「コミュニティ施設の学校への集約」とあるが、これまでの方針や計画の中にもあったのか知りたい。</p>	<p>平成26年3月に策定した「目黒区区有施設見直し方針」において、小学校については「少子化による児童数の減少を踏まえつつ、教育環境の整備、地域コミュニティの拠点としての機能集約、防災機能の強化を図る観点で、小学校の効果的、効率的な活用方法を検討していく」こととしており、検討の方向性として示しています。</p>
<p>3 学校の計画的更新とは具体的にどのようなことか。</p>	<p>区有施設全体の40%以上を占める学校施設(小中学校)については、今後10年間で60年目を迎える学校が8割を超えるなど、老朽化対策が喫緊の課題となっています。これに対して、区有施設見直し計画に掲げる多機能化、複合化等、施設の効果的・効率的な活用を踏まえながら、学校施設の更新を計画的に図っていく必要があるという認識です。現在、計画の策定に向けて検討を進めており、今後の基本的な考え方のほか、改修や改築の整備手法や経費、時期等についてまとめ、令和2年度を目途に策定する予定としています。</p>
<p>4 小委員会の開催については、どのような状況になっているのか。</p>	<p>令和元年5月7日に第1回小委員会を開催し、互選により石渡委員を委員長、根上委員を副委員長に決定しました。</p> <p>第1回では、今後の長期計画審議会の進め方や行政分野別の審議方法を議題として審議をしました。</p> <p>今後、小委員会を開催した際には、審議状況を適宜審議会にて報告いたします。</p>
<p>5 区職員の長期計画(基本構想、基本計画、実施計画)に関しての認知度の低さに驚き、不安を覚えた。職員が一体となって取り組むべき基本の徹底が出来ていないと言わざるを得ない。</p> <p>今後策定される計画については、職員全員に理解・共有させ、行政推進を図るための体制の強化が必要と考える。</p>	<p>現行の長期計画の職員への認知度は、区としても低いものと認識しており、職員への周知も含めて課題があると考えています。</p> <p>今後策定する長期計画については、全職員が意識して職務に当たる計画内容にするとともに、策定後も長期計画に対する職員の意識醸成を図ってまいります。</p> <p>また、策定過程においても、様々な手法で職員参加を図るなど工夫していきます。</p>